

「定年まで」の意識高まるも 「転職」志向も増加

Text by しがぎん経済文化センター 長山 真由美

景気回復への期待感やそれに伴う人手不足から企業の新卒求人は改善傾向にあるものの、昨年の就職活動も厳しい状況が続いた。そのような中、今春も多くの新入社員が社会人生活の第一歩を踏み出した。毎年、県内企業の新入社員を対象に当社が実施するアンケート調査結果から、今年の新入社員の意識を探ってみよう。

【調査概要】

- 調査名:「新入社員意識調査」
- 調査時期:15年3月25日(水)~4月24日(金)
- 調査対象先:当社開催の新入社員研修に参加した新入社員(有効回答数:668名)
(男性348人(52.1%)、女性320人(47.9%))

入社動機は「資格や能力が発揮できそう」が最多で4割

「入社を決めた主な動機は何か」(複数回答)と尋ねたところ(図1)、今年も「自分の資格や能力が発揮できそう」(40.0%)が最も多く、昨年より1.8ポイント増加した。次いで多い「企業イメージがよい」は27.8%と1.1ポイント増加した。「企業イメージがよい」との回答は、昨年、3年ぶりに前年差-4.3ポイントと大きく下落に転じており(2012年:29.9%→13年:31.0%→14年:26.7%)、大企業を重視する傾向は依然続いているものの、近年は企業規模にこだわらない姿勢も出てきているようだ。

女性は「協調性」、男性は「体力」「集中力」にも自信あり

「社会人として必要なもののうち、あなたが自信を持っているもの」(複数回答)を尋ねたところ(図2)、「協調性」(29.8%)が最も多く、昨年に比べて+6.1ポイントと3年ぶりに大きく増加に転じた。次いで「意欲・やる気」(22.2%)、「忍耐力」(20.8%)と続いたが、どちらも近年減少する傾向にある(25.6%→22.8%→22.2%、23.6%→22.2%→20.8%)。

最多となった「協調性」だが、男性の24.6%に対し女性は35.4%と10ポイント以上高く、女性のほうが自信を持っている人が多い。一方、男性は「体力」(19.7%、女性:10.4%)、「集中力」(17.1%、女性:10.1%)で、女性よりも割合が高くなった。

「管理職にこだわらない」が最多となるも 4年連続で減少

「社会人としてどのような道を進みたいか」と尋ねたところ(図3)、「いろいろな仕事を体験したいが、管理職にはこだわらない」(33.8%)が最も多くなったものの、4年連続で減少した。次いで「いろいろな仕事を体験し、部下を持つような管理職になりたい」(25.0%)、「一つの分野を勉強し、その道の専門職になりたい」(22.2%)が続いた。

男女別で見ると、男性は「管理職になりたい」(39.3%)が最も多く、3年連続で増加した。女性は「管理職にはこだわらない」(41.3%)が最も多いものの、3年連続で減少。一方で「専門職になりたい」(26.0%)が昨年より4.5ポイント増加し、男性(18.8%)に比べ、女性のほうが専門職を志望する割合が高くなっている。

57.3%は「定年まで」 「よい仕事があれば転職」も増える

「定年まで勤めたいか」を尋ねたところ(図4)、男女とも「そうしたい」(57.3%)が最も多く、4年連続で増加した。安定志向はさらに高まっているようだ。一方で「他によい仕事があれば転職する」が2年連続で増加(14.8%→15.9%→17.4%)し、全体としては2006年から13年まで、8年間減少傾向が続いていた転職に対して少し前向きになってきたようだ。

女性では「結婚したらやめる」(11.1%)が前年比+1.1ポイントと4年ぶりに微増となったものの、「子供ができればやめる」(15.0%)は3年連続で減少した。結婚・出産後も働くという女性の割合は近年増加する傾向にあり、少子高齢化が課題となる中で、育児休業など子育て支援制度の充実や、制度を利用しやすい職場環境の構築が求められる。

理想の上司は今年も 「イチロー」「天海祐希」が人気

「理想とする上司像を有名人に例えると」と尋ねたところ(表)、「理想とする上司像を有名人に例えると」と尋ねたところ(表)、男性の上司としては、米大リーガーの「イチロー」を54人(男性41人、女性13人)が挙げ、10年連続の1位となった。女性の上司では女優の「天海祐希」が74人(男性26人、女性48人)で6年連続の1位となった。

「その有名人を選んだ理由」では、「イチロー」は「仕事ができそう」「率先して手本を見せてくれそう」が各22人で最も多く、次に「目標ややり方をはっきり示してくれそう」が19人で続いた。「天海祐希」を選んだ理由は、「頼りになりそう」が33人で最も多く、次いで「面倒見がよく、何でも相談できそう」(31人)となった。

理想とする上司像

男性の上司	回答数(人)	順位	女性の上司	回答数(人)
イチロー	54	1	天海祐希	74
松岡修造	38	2	真矢みき	19
明石家さんま	18	3	江角マキコ	17
池上彰	16	4	仲間由紀恵	17
長谷部誠	15	5	米倉涼子	12

モチベーションや持続性を高める工夫を

回復の兆しが見えつつあるものの、昨年の就職活動も厳しい状況が続いた。そのような中、自らの資格・能力を生かせる企業を志望する傾向は変わらず強い。また「協調性」に自信がある新入社員が大きく増加したのに対し、「意欲・やる気」「忍耐力」が減少傾向にあるのは気がかりだ。一方、男女とも「定年まで働く」との意識は高いものの、転職に前向きな姿勢も見える。仕事へのモチベーションや持続性を高めながらいかに能力発揮を促していくか、受け入れる企業側も努力と工夫が求められる。

図1 入社を決めた主な動機 上位10項目(複数回答)

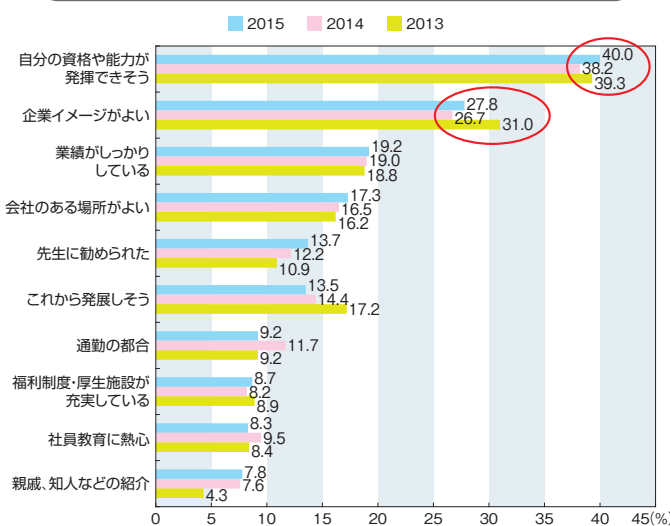


図2 あなたが自信を持っているもの 上位10項目(複数回答)

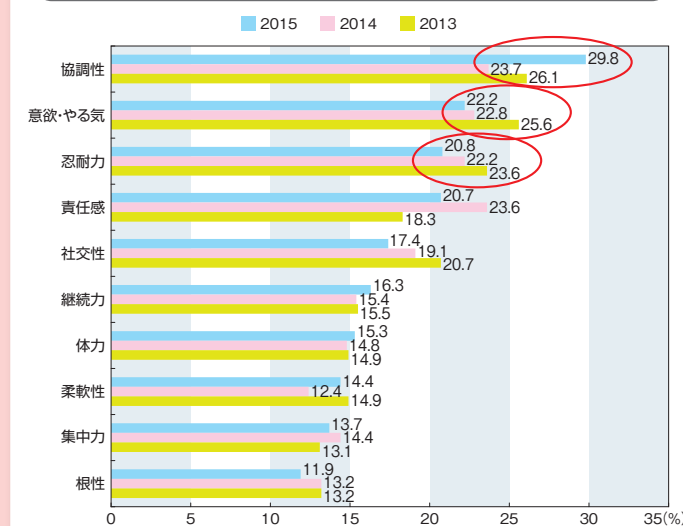


図3 社会人としてどのような道を進みたいか

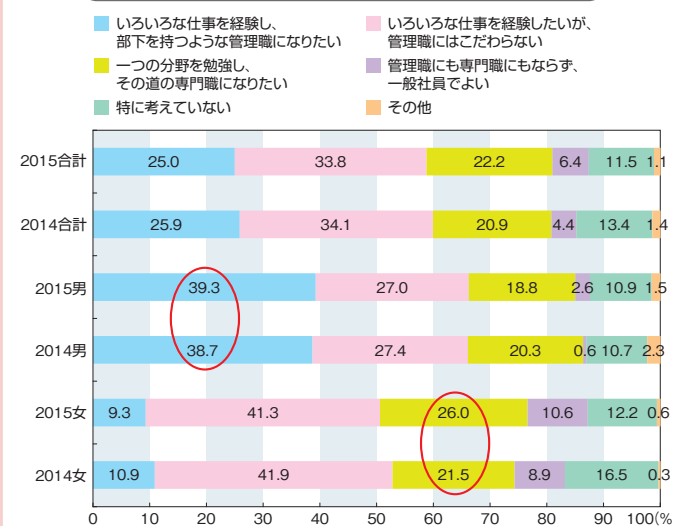


図4 定年まで勤めたいか

